

「戦争を知らない人達へ」

古堅南小学校六年一組 島袋 真奈美

今回の平和学習で、沖縄戦のおそろしさに  
ついて改めて、知ることができました。

渡具知地区では、四月一日の午前五時ごろ  
にアメリカ軍が上陸したことや私達が、遊ん  
でる渡具知の海がアメリカ軍の船が「ぱい  
だ」たことを聞きました。私は、とてもおど  
ろきました。渡具知地区慰霊碑にきざまれて  
いる人数が百九十八人でした。

戦争中は、食べ物も少なくて泣きそうにな  
ったら、かつおをしゃぶっていたそうです。  
今の、私たちは好ききらいをしたりいっでも  
お腹いっぱい食べられるのが普通のことだと  
思っていました。とても幸せなことなんだ  
と気づかされました。

また、戦争中はやんばるまで一週間かけて  
歩いて逃げたという話にもおどろきました。  
今みたいに街灯や家の明かりも無い中で、夜  
に歩くのはとても大変だと思いました。

比謝地区では、日本軍十一万人に対してアメリカ軍五十四万人が戦ったのが沖縄戦だと聞きました。

戦争がひどかったのは、沖縄だけではなく広島や長崎も原子爆弾というものが落とされたとそうです。その時に、二十四万人の人が亡くなつて、その五年後に放射能で三十五万人亡くなつたそうです。

比謝地区でも、六十三人の人の名前が慰霊碑に刻まれていました。亡くなつた人達のう

ち十一人が九才以下の子どもだったそうです。今の私よりも年下の子どもが、こんなにくさん亡くなつたと聞いて本当にかわいそうだと思います。戦争中は、アメリカ軍だけじゃなくて日本軍もこわかつたそうです。日本軍は、住民の食糧をうばったり、赤ちゃんがないたらお母さんに殺せといつて殺さなかつたら、赤ちゃんは日本軍に殺されるそうです。私のおばあちゃんも、戦争を体験していて戦争の話を知ったことがあります。おばあち

やんの子どもが、川の水を飲んで亡くなり、二日間ぐらいは、その子供を泣きながら、だいていたそうです。

今回の平和学習を通して、戦争は人々に悲しいことや怖いことをあじあわせて楽しいことやうれしいことをさうばっていくものだとかかりました。戦争は、二度とおこしてはいけないと思います。

戦争をおこさないためには、私たちが平和についてしっかりと学んで、将来まで伝えていかなければならないと思いました。